

「奄美大島瀬戸内町におけるドローンを活用した平時・有事対応の住民サービス」が、第7回日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を受賞しました

防災科研と日本航空株式会社、奄美アイランドドローン株式会社、鹿児島県大島郡瀬戸内町、国立大学法人筑波大学が連携し、平時から災害対応までドローンとデジタル技術を活用した離島での住民サービスモデルの社会実装を目指した取り組みが、持続可能なまちづくりへの貢献として高く評価されました。2月5日の受賞式では、地震津波複合災害研究部門の内山庄一郎主任専門研究員が、「この受賞を励みに、地域とともに成長し、プロアクティブな防災と持続可能な社会の実現に向けて、挑戦を続けてまいります。」とコメントしました。

第29回「震災対策技術展」横浜に参加しました

2月6日から7日の2日間、パシフィコ横浜で開催された「震災対策技術展」で、防災科研はブース展示を行い、「J-SHIS」などの地震や津波に関するハザード情報を紹介しました。また、セミナーでは、防災科研の實髯理事長と総合防災情報センターの臼田裕一郎センター長が講演を行いました。さらに、6日には防災科研と特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会の共催で第22回国土セイフティネットシンポジウムが開催され、「都市の安全を支える強震観測と光ファイバセンシング技術の展望」をテーマに、藤原広行研究主監と地震津波火山観測研究センターの功刀卓センター長代理ら6名が登壇し、会場は満席となりました。



国土セイフティネットシンポジウムの様子

令和6年度いばらき健康経営優良事業所表彰（知事賞）を受賞しました

「いばらき健康経営推進事業所」として認定された企業・団体の中から、他の模範となる優れた取り組みを実践している事業所として評価され、2月12日に茨城県庁にて開催された表彰式で受賞しました。また、3月10日には「健康経営優良法人2025」に認定されました。この認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するもので、3年連続の認定となります。



賞状を持つ丹野忠総務部長

資料展「阪神・淡路大震災30年 あの日の神戸ー記憶の継承ー」出張展示を開催しました

神戸大学附属図書館で開催された資料展「阪神・淡路大震災30年 あの日の神戸ー記憶の継承ー」の一部コンテンツを使用した出張展示を防災科研自然災害情報室において、2025年2月25日から4月25日まで開催しました。本展示は、災害資料アーカイブの連携の一環として行われ、震災から30年を迎えるにあたり、貴重な記録を広く紹介する機会となりました。

特許権を取得しました

「路面判定装置、及び、路面判定方法」の特許権を取得しました。
概要はホームページをご確認ください。

防災科研 特許



沖縄県のスマート防災ネットワークの構築に向けた取り組みを発表

3月5日、防災科研は、株式会社りゅうぎん総合研究所の記者発表にて、2024年11月9日に発生した沖縄県北部豪雨等の教訓を踏まえたスマート防災ネットワークの構築について、りゅうぎん総合研究所との連携を発表しました。この取り組みは、2023年9月から始まった戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期の課題「スマート防災ネットワークの構築」の中で取り組んでいる「災害実動機関における組織横断の情報共有・活用」で得られた知見を踏まえて実施する計画です。



左から、防災科研 工藤隼人招へい技術員、伊勢正研究統括、りゅうぎん総合研究所 豊田良二代表取締役、志良堂猛史特命部長

World Bosai Forum 2025に参加しました

3月7日から9日の3日間、仙台国際センターで「World Bosai Forum 2025」が開催され、防災科研は、3月7日と8日に行われたWorld Bosai EXPOに3つのテーマで出展しました。また、9日には防災科研が事務局をつとめるJHoP（防災減災連携研究ハブ）の共催による公開シンポジウム「2つの提言：壊滅的災害へのそなえを考える～1995阪神・淡路、2011東日本、2024能登半島の教訓に学ぶ～」が開催され、寶馨理事長が登壇しました。

文部科学省刊行の「実践的な防災教育の手引き」に YOU@RISK が掲載されました

「実践的な防災教育の手引き」（小学校編、中学校・高等学校編）に収録された実践事例は、GIGAスクール構想で整備されたタブレットを活用し、「YOU@RISK（STEP2）」の（洪水版・津波版・火山版）を操作しながら授業を進める内容となっており、教育現場での実践的な指導方法の一例として紹介されています。

実践的な防災教育の手引き

YOU@RISK



みんなで学ぶ防災教室「地震のそなえ」を開催しました

3月22日、防災科研は、ガールスカウト日本連盟との共催による防災科学教室を対面とオンラインで開催しました。講師は総合防災情報センターの上田啓瑚特別研究員で、クイズや謎解きを入れて楽しみながら「もしもの時に備える行動」を参加者に理解していただきました。オンラインでは全国から約30の団体・個人の参加がありました。

一般公開を開催しました

4月19日、防災科研つくば本所にて、一般公開を開催しました。小学生の親子連れをはじめ、約2000人が来場しました。大型降雨実験施設では多くの方が毎時300mmの豪雨を体験し、地震の揺れを体験できる「地震ザブトン」は、事前申し込みが予想を大きく上回り、関心の高さが伺えました。さらに、各研究部門が実験や工作のブースを設け、来場者が研究者から直接説明を受け、楽しみながら防災を学べるプログラムを多数実施しました。



一般公開の様子